

News 近畿圏広域地方計画 ニュース 2009.2 vol.13



国土交通省 近畿地方整備局

近畿圏広域地方計画推進室
TEL. 06-6942-1141(代)

Report 近畿圏広域地方計画レポート

第4回 近畿圏広域地方計画学識者会議を開催

平成20年11月27日、「第4回近畿圏広域地方計画学識者会議」を開きました。学識者会議は、近畿圏広域計画検討会議の検討において、専門的な見地から意見をいただくことを目的として設置されたものです。前回の学識者会議では、『近畿圏の目指す姿』を実現するための具体的な「戦略」について意見交換が行われました。



今回、第4回学識者会議では、10月21日の第1回近畿圏広域地方計画協議会で取りまとめられた「中間整理」について、それぞれの専門分野を中心に今後どのような認識で他圏域と差別化するのか、課題から目指す姿、主要プロジェクトに至るまで幅広い視点で意見交換が行われました。

「目指す姿」「主要プロジェクト」について、幅広い視点で活発に議論されました。

Topics

01 「唯一地域」としての姿勢と立場

「中間整理」については、近畿圏からしか出ない概念や戦略が前回よりも網羅されたという感想もありましたが、関西は唯一地域という認識、首都圏の代替にとどまらない独自性を積極的な姿勢、立場で強調すべきという意見もいただきました。また、近畿圏を一つにまとめる、その際に京阪神が中心になっているため、周辺地域との連携を明確に打ち出すべきとも言及されました。

Topics

02 地域の「多様性」を強調する

関西には多様な価値が集積しているが、その独特の文化を地域の多様性でより強調すべき。日本文化を育ててきた「本物」となる伝統芸能や歴史的文化遺産の振興を図ることが必要である。さまざまな産業、品物も文化や伝統を表現しているという認識。

個性的な地域で形成される近畿圏の多様性を地域レベルで打ち出す、そのための戦略の必要性、具体的な取り組みについて意見が出ました。

Topics

03 「連携」をキーワードに

他地域との連携、特に医療、防災については周辺地域とのつながりを明確にする。地域格差に対して交通・情報のインフラ整備を持続的に進める。近畿圏内に加え、他圏域、日本全体での連携にも目を向けるべきとの意見をいただきました。

Topics

04 「主要プロジェクト」に幅広い意見

「目指す姿」「戦略」が具体的になりつつある中、「主要プロジェクト」についても今後、具体的な取り組み内容が議論されていきます。今回の会議でも、関連する部分がある主要プロジェクトの整理、推進主体の明確化、さらに、文化首都圏プロジェクトでは伝統文化の保護など、広域観光プロジェクトでは、ハード・ソフト両面からの取組の必要性など、各々具体的な内容についても幅広い意見交換が行われました。

近畿圏広域地方計画学識者会議委員名簿 (五十音順)

- 石森 秀三
北海道大学観光学高等センター長・教授
- 大石 久和
東京大学大学院情報学環特任教授
- 小田 章
和歌山大学学長
- 音田 昌子
大阪府立文化情報センター所長
- 桂 明宏
京都府立大学大学院
生命環境科学研究科准教授
- 加藤 恵正
兵庫県立大学経済学部教授
- 川勝 平太
静岡文化芸術大学学長
- 河田 恵昭
京都大学防災研究所
巨大災害研究センター長・教授
- 黒田 勝彦
神戸市立工業高等専門学校校長
- 小浦 久子
大阪大学大学院工学研究科准教授

- 小林 潔司
京都大学
経営管理大学院教授
- 斉藤 峻彦
近畿大学経営学部教授
- 千田 稔
奈良県立図書館情報館長
- 玉岡 かおる
作家
- 中瀬 勲
兵庫県立大学教授
- 狭間 恵三子
サントリー大阪秘書室課長

- 橋爪 紳也
大阪府立大学特別教授
- 横村 久子
京都女子大学現代社会学部教授

- 三野 徹
鳥取環境大学教授
- 宮川 豊章
京都大学大学院工学研究科教授



会議の様子

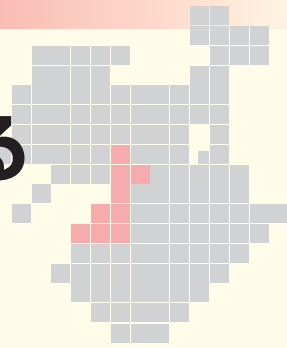
近畿のめざす姿を先取りする先進性や府県を越える広域性を備えた、各府県のプロジェクトを紹介するシリーズ企画「クローズUP 近畿」。第3回は、大阪府のプロジェクトを紹介します。

クローズUP 近畿

in OSAKA

アジアを中心に世界と直結する 大阪湾ベイエリア

～ベイエリアの再生と国際物流ハブ機能のパワーアップ～



大阪湾ベイエリアの再生

積極的な先端産業の工場誘致・集積で再生を図る

- ◆近年、活力低下が憂慮されてきた大阪湾ベイエリアを再生するために、大阪府では積極的な企業誘致を展開し、とくに先端電子材料や太陽エネルギー分野といった先端産業の誘致・集積を図ってきました。
- ◆2007年には、大阪地盤の家電メーカーの誘致に成功。堺泉北港・堺2区の127万㎡の土地に、投資額3,800億円で工場が建設されます。最先端の液晶パネル工場、薄膜太陽電池工場を中核として関連産業分野の企業が集積する「21世紀型コンビナート」が形成されます。総投資規模は約1兆円。大阪府の進めてきた臨海部の再生は、今後さらに大きな展開が期待されています。



工場建設が進む堺泉北港・堺2区

ベイエリアのパワーアップ

先進的なハード整備と官民一体となったソフト施策

- ◆ベイエリアには今、民間の物流倉庫が続々と集結しています。また、咲洲は大阪港のコンテナ物流拠点として機能しています。関西国際空港では第2滑走路が供用開始(2007年8月)となり、「4,000m級の複数滑走路プラス24時間運用」という強力な装置が整いました。
- ◆現在、国際物流機能をさらにパワーアップするための整備が進んでいます。夢洲での次世代高規格コンテナターミナルの整備、アクセス道路(夢咲トンネル)建設、堺泉北港での耐震強化岸壁と臨海道路の整備などです。さらにソフト面でも、夢洲での複数バースを一体的に運営するメガターミナルオペレーターの育成や港湾施設使用料の低減などが計画されているほか、大阪湾岸の行政・経済界が一体となったPRも活発化しています。



第2滑走路が供用開始した関西国際空港

ベイエリアの活性化をうながすインフラ整備

ベイエリアの活性化をうながし、発展を支えるプロジェクト群

- ◆スーパー中核港湾／大阪港と神戸港は2004年7月に、「スーパー中核港湾・阪神港」に指定されました。「スーパー中核港湾」とは、我が国のコンテナ港湾の国際競争力を強化する施策です。アジア主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現を目標に、「広域的な港湾連携」、「ターミナルの大規模化」、「IT化」、「荷役の共同化」等に取り組んでいます。

- ◆夢咲トンネル／「夢洲」と「咲洲」を結ぶ「夢咲トンネル」が2009年3月に既成予定です。全長約2,100m、海底部800m。道路・鉄道併用の海底トンネルで、2007年9月4日に海底部が貫通しました。このトンネル供用により「舞洲」、「夢洲」、「咲洲」が結ばれることになり、大阪港全体の機能をつなぐ交通大動脈が実現します。

スーパー中核港湾プロジェクトの概要



近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域地方計画協議会は、以下の機関で構成されています。

<府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県

<指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市

<市 町 村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経営者協会 京都商工会議所 堺商工会議所 神戸商工会議所 関西広域機構

<国の地方支分部局> 近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省中部地方整備局 国土交通省中国地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

- ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画

検索